

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和3年5月16日 報告者：柴田 康孝

行事種別	研究会	行事番号	210000272	
開催日	令和3年5月15日（土）			
時間	開始	15時00分	終了	17時00分
場所	Web ライブ配信（Zoom ミーティング）			
テーマ	生理検査への入り口 ～これから生理検査をはじめの人へ～			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	J A 愛知厚生連江南厚生病院 柴田 康孝			
講師	<p>1. 希望と違う配属 生理検査に従事して思うこと 厚生連 渥美病院 三世 拓也</p> <p>2. 上達に近道なし！ 私の経験から考える生理検査の学び方 藤田医科大学ばんだね病院 中村 和広</p> <p>3. 再考、認定技師 三重大学医学部附属病院 久富 一毅</p>			
内容	<p>新入職員や部署異動など生理検査を始めたばかりの方を中心に、気持ちの面や学び方を目指す目標などから、生理検査に向き合う機会になるような企画とした。Zoom ミーティングによる Web ライブとし、各講演の終了ごとにはディスカッションを設けて、質問をはじめ体験談やアドバイスなど意見交換を行った。講演 1 は配属による不安や戸惑いに対して、気持ちの切り替えによりポジティブな面を伸ばすヒントを提示した。講演 2 は自分に合う学び方や効率的な学び方のコツを紹介した。講演 3 は認定技師の歴史や取得について解説し、認定技師取得による問題点などの意見交換を行った。またアンケートを実施して掲示することにより、受講者や職場の傾向を知ることができた。上司のサポートを含め、専門性を追求し期待に応えるべく臨床検査技師を目指してもらえよう期待する。</p>			
参加者	総数 72 名(会員 64 名、県外会員 8 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名)			
共催、後援など	なし			

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和3年7月2日 報告者：大竹 悦子

行事種別	専門教科	行事番号	210000890	
開催日	令和3年06月19日(土)			
時間	開始	15時00分	終了	17時00分
場所	Webライブ配信(Zoom)			
テーマ	呼吸機能検査の基礎			
生涯教育履修点数	専門教科 20点			
司会	公立陶生病院 大竹 悦子			
講師	<p>1. 肺機能検査室の仕事(検査・感染対策・精度管理) 藤田医科大学病院 関根 秀治</p> <p>2. 呼吸機能検査の実際 国家公務員共済組合連合会名城病院 及川 和紀</p>			
内容	<p>呼吸機能検査を始めたばかりの検査技師を対象にした講演を企画した。</p> <p>呼吸(肺)機能検査室では、どんな検査を行い、検査を行ううえでどのような知識が必要なのかを幅広く講演していただいた。大きな声で指示をだす呼吸機能検査は威圧的になりがちのため、接遇も重要である。検査がうまくできない患者さんにはどう対処すればいいのか、いくつか案を提示いただき、経験豊富な技師からの助言となった。</p> <p>今回、講師と司会者は愛知県臨床検査技師会事務所に集まり ZOOM によるライブ配信をおこなった。申込開始 2 日で定員の 100 名が埋まり参加率も良好であった(最終的な参加者は 76 名)。例年呼吸機能検査は、60~70 名の参加人数であったが WEB による研修会は多くの応募者が望めることが明らかになったため、次回以降の研修会に活かしたい。</p>			
参加者	総数 76 名(愛臨技会員 73 名、県外会員 3 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名)			
共催、後援など	なし			

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和3年10月18日 報告者：樋口 昌哉

行事種別	研究会	行事番号	210005941	
開催日	令和3年9月18日(土)～10月1日(金)			
時間	開始	0時1分	終了	23時59分
場所	Web オンデマンド配信			
テーマ	ホルター心電図を学ぼう			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	J A 愛知厚生連海南病院 樋口 昌哉			
講師	1. ホルター心電図を始めよう 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 倉田 貴規 2. 見逃せない心電図 ボストンサイエンティフィックジャパン株式会社 富田 大史 3. ホルター解析装置を使いこなそう 日本光電工業(株) 営業本部 病院営業部 検査ソリューション課 前川 文香			
内容	<p>ホルター心電図は、日常生活での長時間の心電図を記録し解析する検査であり、自覚症状出現時の心電図変化の有無、不整脈の有無、労作性狭心症、冠攣縮性狭心症発作などの検出に有用である。今回は、「ホルター心電図を学ぼう」をテーマとしてこれからホルター心電図を始める方にも知識が深められるような企画とした。</p> <p>講演1では患者説明から機器の装着、解析、報告までの手順を紹介した。講演2では解析を行うにあたり臨床に必要とされる心電図をわかりやすく解説した。講演3では解析装置の使いこなし方のポイントについて紹介した。</p> <p>生理検査研究班として初めてオンデマンド配信を行ったが多くの方にご参加いただいた。受講後に頂いたご意見からも心電図波形の解釈から解析まで十分に活かせる内容であったことがうかがえた。ホルター心電図を行っている方やこれから始める方に有益な知識習得になる内容であり、今後の業務に活かしてもらえることを期待する。</p>			
参加者	総数：225名(会員194名、県外会員31名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他0名)			
共催、後援など	なし			

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和3年11月18日 報告者：犬塚 斉

行事種別	講演会	行事番号	210007718	
開催日	令和3年10月16日(土)～10月30日(土)			
時間	開始	15時00分	終了	23時59分
場所	Web配信(ライブ・オンデマンド)			
テーマ	先天性心疾患を学ぶ			
生涯教育履修点数	専門教科 20点			
司会	J A 愛知厚生連安城更生病院 犬塚 斉			
講師	<p>1. 心エコー検査時のポイント (ASD・VSD・PDA) 名古屋掖済会病院 花井 甲太郎</p> <p>2. 症例検討 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 海老名 祐佳</p> <p>3. 先天性心疾患の基礎 藤田医科大学医学部小児科学 講師 内田 英利</p>			
内容	<p>成人先天性心疾患 (ACHD) では、従来は未治療のまま成人期を迎えた症例が主体でしたが、先天性心疾患の治療が進歩し、最近では成人期を迎えた複雑心奇形の治療後症例を評価する機会が増えている。</p> <p>まず初めに、花井技師による「心エコー検査時のポイント (ASD、VSD、PDA)」は成人先天性心疾患の中で比較的遭遇するものである。そのため、しっかりと病態を理解し、正確な検査結果を出すために必要な知識を理解する内容であった。次の海老名技師より「症例検討」では、小児期に治療された成人先天性心疾患のフォローアップの実例を交え、現場のニーズに合ったものであった。</p> <p>また「先天性心疾患の基礎」は、心臓の発生学から胎児循環と臨床検査技師が苦手としているところをどの週数でどの病気になるのか関連付けされやすい内容を内田医師に解説していただいた。</p> <p>今回、初めて生理検査研究班としてハイブリッド開催 (ライブ配信とオンデマンド配信) を行った。ハイブリッド開催の不手際があり、実務委員の準備不足などの課題が浮き彫りとなった。今後しっかりとこのようなことにならないよう対応に努めたい。</p>			
参加者	総数：154名 (ライブ配信：28名、オンデマンド配信：126名)			
共催、後援など	なし			

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和3年12月12日 報告者：及川 和紀

行事種別	基礎講座	行事番号	210009710	
開催日	令和3年12月5日（日）			
時間	開始	9時30分	終了	16時00分
場所	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 加藤化学カンファレンスホール			
テーマ	「じっくり学ぶ神経伝導検査」（初級コース）			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	JA 愛知厚生連海南病院 樋口 昌哉			
講師	<p>1. NCS に必要な電気生理学の基礎知識</p> <p style="text-align: right;">日本光電工業株式会社 古谷 功</p> <p>2. NCS の基礎</p> <p style="text-align: right;">名古屋大学医学部付属病院 榊原 久美子</p> <p>3. 実技実習</p> <p style="text-align: right;">実技講師）三重大学医学部付属病院 久富 一毅</p> <p style="text-align: right;">名古屋大学医学部付属病院 榊原 久美子</p> <p style="text-align: right;">トヨタ記念病院 鍋谷 洋介</p> <p style="text-align: right;">公立陶生病院 柴田 悠貴</p>			
内容	<p>神経伝導検査の初級者を対象とした講義および実技講習を企画した。</p> <p>当講座は対象が初級者であることから、始めにまず、アース・差動増幅器・交流障害等の基礎知識について日本光電工業担当者から講義いただいた。</p> <p>続いて一般的な検査対象となる“上肢および下肢（正中・尺骨・腓骨・脛骨・腓腹）神経”の、走行や導出の具体的な方法について講義が行われた。</p> <p>基礎知識を習得・整理したうえで午後に実技講習の時間を迎えると、受講者は実技講師のレクチャーに聴き入り、互いに検者となり被検者となり、これまでのエピソードについても紹介し合うなど、有意義な時間を過ごしていただくことができた様子であった。</p>			
参加者	総数：16名（会員 16名）			
共催、後援など	なし			

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和3年12月12日 報告者：及川 和紀

行事種別	基礎講座	行事番号	210009721												
開催日	令和3年12月5日（日）														
時間	開始	9時00分	終了 15時40分												
場所	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 加藤化学カンファレンスホール														
テーマ	「じっくり学ぶ神経伝導検査」（中級コース）														
生涯教育履修点数	専門教科 20点														
司会	JA 愛知厚生連海南病院 樋口 昌哉														
講師	<p>1. 実習 『RNS や NoG を含む uncommon nerve NCS を中心に』</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">三重大学医学部付属病院</td> <td style="width: 40%;">久富 一毅</td> </tr> <tr> <td>半田市立半田病院</td> <td>西脇 啓太</td> </tr> <tr> <td>トヨタ記念病院</td> <td>鍋谷 洋介</td> </tr> <tr> <td>日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院</td> <td>井澤 和美</td> </tr> </table> <p>2. NCS の pitfall と uncommon</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%; text-align: center;">大隈病院</td> <td style="width: 40%;">山内 孝治</td> </tr> </table> <p>3. NCS の応用</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%; text-align: center;">半田市立半田病院</td> <td style="width: 40%;">西脇 啓太</td> </tr> </table>			三重大学医学部付属病院	久富 一毅	半田市立半田病院	西脇 啓太	トヨタ記念病院	鍋谷 洋介	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院	井澤 和美	大隈病院	山内 孝治	半田市立半田病院	西脇 啓太
三重大学医学部付属病院	久富 一毅														
半田市立半田病院	西脇 啓太														
トヨタ記念病院	鍋谷 洋介														
日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院	井澤 和美														
大隈病院	山内 孝治														
半田市立半田病院	西脇 啓太														
内容	<p>神経伝導検査の中級者を対象とした講義・実技講習を企画した。</p> <p>当講座では、まず一番に実技講習の時間が設定された。検査中級者である受講者が、「解決したい」とテーマをもって来場いただいたその内容を伺い、何にでも対応し、応える形で行われた。経験豊富な技師からの助言を受けて実技が行われ、問題解決型の有意義な実習機会として利用いただくことができた。</p> <p>続いて午後に、検査のピットフォールや、突然のオーダーで困りやすい uncommon nerve の検査法・応用等について座学が行われた。実技実習内容と併せて、より深く学んでいただくことができたと思う。</p>														
参加者	総数：15名（会員 15名）														
共催、後援など	なし														

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和4年1月19日 報告者：箕浦 鮎美

行事種別	研究会	行事番号	210014222	
開催日	令和4年1月15日（土）			
時間	開始	15時00分	終了	17時00分
場所	Web ライブ配信			
テーマ	甲状腺エコーを行うための基礎知識			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院 箕浦 鮎美			
講師	1. 甲状腺の解剖と描出方法 愛知医科大学病院 淀川 千尋 2. 開業3年で経験した甲状腺疾患 ～結節性病変を中心に～ 糖尿病・甲状腺 上西内科 野田 徳子			
内容	「甲状腺エコーを行うための基礎知識」をテーマに甲状腺エコーを行う際に必要な基礎知識を学ぶ内容を企画した。 講演1では甲状腺・副甲状腺の解剖やホルモンの働きを始め、甲状腺を観察するのに必要な超音波装置の設定や描出・検査方法について講演した。 講演2では結節性病変を ATA ガイドラインに則して様々な超音波パターンと悪性について、病理像を交えて講演した。 甲状腺の画像診断の第一選択である甲状腺エコーは観察範囲は狭いものの多様な超音波画像を呈し、判断に困ることもある。今回の研究会では数多くの超音波画像を提示することができ、今後の業務に生かしていただきたい。			
参加者	総数：99名（会員99名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他0名）			
共催、後援など	なし			

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生理検査研究班 提出日：令和4年3月7日 報告者：久富 一毅

行事種別	研究会	行事番号	210016279	
開催日	令和4年2月19日(土)～3月4日(金)			
時間	開始	-	終了	-
場所	オンデマンド配信(Web録画)			
テーマ	2021年度生理検査精度管理報告			
生涯教育履修点数	基礎教科 20点			
司会	樋口 昌哉 (JA愛知厚生連海南病院)			
講師	1. 愛臨技精度管理報告 総括 樋口 昌哉 (JA愛知厚生連海南病院) 2. 心電図検査 三世 拓也 (JA愛知厚生連 渥美病院) 3. 腹部・表在超音波検査 藤田 啓介 (JA愛知厚生連 豊田厚生病院) 4. 心臓・血管超音波検査 岸 久美子 (小牧市民病院) 5. 脳神経検査 鈴木 優大 (医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院) 6. 呼吸機能検査 及川 和紀 (社会医療法人 総合大雄会病院)			
内容	<p>2021年度愛臨技・生理検査精度管理報告の解説をオンデマンド配信にて行った。例年通り、分野ごとに5名の技師が設問ごとに詳しい説明を加えて解説した。設問の意図や関連する症例等も提示され日常業務に活用できる内容であった。</p> <p>例年通り問題作成に際しては、班員相互のチェックも強化したため、概ね良好な正答率であった。</p> <p>今年度も昨年度同様に数値・計測設問を作成した。地域サーベイとしての数値設問は意義があるが、設問の作成に際しては注意を要し苦慮する点もある。今年度の結果を踏まえて、来年度はより改良した設問作成に取り組みたいと考える。</p> <p>今後も内部精度管理も含め、日常業務で十分に活かせる精度管理の問題作成を進めていきたいと考える。</p>			
参加者	総数：126名(会員126名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他0名)			
共催、後援など	なし			